

# 自学のすすめ

R 7. 12



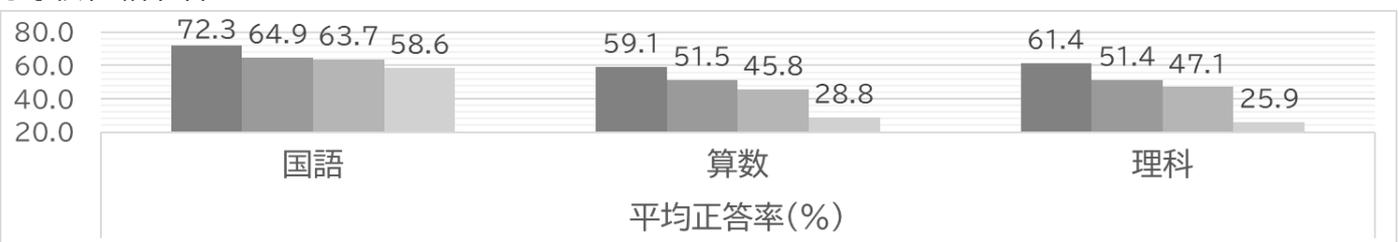
## 冬休みも「自分から学ぶ力」を育てましょう！

4月に行われた全国学力・学習状況調査では、「これまで受けた授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる」と答えた子どもほど、学力調査の平均正答率が高い傾向が見られました。この結果は、小中学校・全教科に共通して確認されています。つまり、学力の伸びには知識だけではなく、学びに向かう姿勢が大きく関わっているのです。

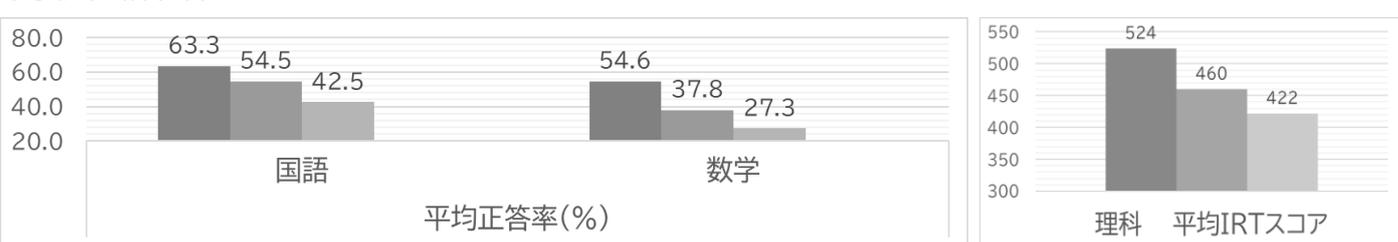
「これまで受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

小学校(八幡平市)



中学校(八幡平市)



令和7年度全国学力・学習状況調査 クロス集計 [児童・生徒質問-教科] 結果より

?



「自ら学ぶ力」が大切なことはわかりましたが、冬休み中は授業もお休みですね。家庭でも、取り組めることはあるのですか？



もちろん！**家庭学習**や**お手伝い**などの生活の場面で、お子さんの取組を支えてあげること、「自分から学ぶ力」を伸ばすことができます。

## ～家庭学習編～

家庭学習には、学校から出される【宿題】と子どもが自分で内容を決定し、工夫して取り組む【自主学習】があります(学校によっては、自主学習を課題として出す場合もあります)。どちらも、「自分から取り組む力」を育てる大切な機会です。

?



宿題をするときは、どのように支えればよいですか？



子どもの決定を認めましょう。

取り組む量や順序を「子ども自身が決めること」を尊重しましょう。「今日はここまでやろう」と自分で決めた選択を認めることが支えになります。低学年や取り組み始めは、相談しながら一緒に決めてもよいでしょう。

主体的に取り組めたことをほめることが大切です。

宿題を終えたときには、子どもが自分で計画し、最後までやり遂げたことを認める声かけが大切です。「自分で決めてやり遂げたね」「計画通りにできたね」と伝えることで達成感を共有でき、自信や次の学習への意欲につながります。

?



自主学習は、どのように支えればよいですか？  
そもそも、自主学習の内容には、どんなものがありますか？

バックナンバー  
vol.4 参考



1 つは、目標達成や苦手を克服するための取組です。

計算ドリルや漢字練習、英語の練習問題など、自分の目標に挑戦する学習です。子どもの「できるようになりたい」「もっと伸ばしたい」という思いを尊重し、実現できるように環境を整えることで支えましょう。「よく考えて決めたね」「苦手なことに挑戦して偉いね」など、認める声かけも効果的です。

もう 1 つは、興味・関心や素朴な疑問を生かした取組です。

「星はなんで光っているんだろう？」や「どうしてゴミを分けて捨てる必要があるのかな？」など、素朴な疑問がふと口から出ているときは、大チャンスです！「一緒に調べてみようか？」や「ちょっと調べてみたら？」と促しましょう。



ポイントは、挑戦したこと自体を認めること！

家庭学習では「結果」だけでなく、「自分から取り組んだこと」をほめよう。たとえ失敗しても「挑戦したこと自体に価値がある」と伝えることで、子どもは達成感を感じ、「またやってみよう」という意欲が生まれる。こうした声かけが、自分から学ぶ力の育成につながるんだ！

～お手伝い編～



お手伝いは、なんでもいいのですか？



子どもの選択・挑戦・工夫を大切にしましょう。

お手伝いの内容は特別なものでなくても構いません。大切なのは、子ども自身が「やってみよう」と選び、工夫や挑戦をすることです。例えば、

- 家族のために新しく役割を見つけて取り組む(掃除や洗濯、食器洗いなどで OK)
  - 料理の盛り付けを工夫する
  - 掃除で効率のよい方法を考えて試す
  - 買い物の計画を立てる
- こうした取り組みを認めることで、子どもの自信や学ぶ力が育ちます。

家庭学習と同じように、日常のお手伝いでも子どもの小さな挑戦や工夫をほめることが大切です。失敗しても、取り組んだ姿勢を認め、再挑戦を支えることで「自分から学ぶ力」が育ちます。



生活の中で育まれた「自分から学ぶ力」は、3学期の学校での学びの場面でも、きっと発揮されるはずだ！！

リーフレットのバックナンバー  
を見ることができます！  
いつでも、端末から見  
ることができます！



リーフレットの内容について、ご意見、ご感想、取  
り上げて欲しいこと等、**皆さんの声をお寄せください。**

一八幡平市教育委員会  
教育指導課 TEL 0195-74-2111

